

令和5年度 第二回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

＜議事要旨＞

■日 時：令和5年11月20日（火）14：00～16：00

■場 所：国営海の中道海浜公園事務所

■主な意見等

1) 前回協議会での議題、意見等に関する取組状況等

(1) 上半期の海の中道海浜公園の利用者数の報告

(2) 公園PR・情報発信や多様な主体の連携に関する取組について

- ① メディアに向けた情報発信について、関係機関が尽力している効果として、メディアで見かける機会が多かった。関係のあるマスコミに情報を共有しながらファンになってもらうことが大切と思うので、情報発信を引き続き頑張っていただきたい。〔有識者〕
- ② 利用者がコロナ禍前より増えており、取り組みが魅力的で、利用者が充実していると認識している成果だと思う。より良くしていくためにうみなかたびポータルサイトで、各施設にアクセスするルートや手段を一元的に分かるページを作成すると、利用者がプランを作成する際にも役に立つと思うので検討いただきたい。〔有識者〕

→アクセスは非常に重要な情報と考えている。現在、うみなかたびポータルサイトと公園HPについては、アクセスに関する情報の掲載だけでなく、「ALL うみなか」を意識して、各施設の情報にアクセスしやすいようにリニューアルを進めている。〔園内関係機関〕

(3) 更なる魅力向上に向けての今後の議論テーマ（案）について

- ① 魅力向上策や利用者増加に向けた取り組みを検討するにあたり、利用者の満足度調査やニーズ調査が重要と思うが、そのような調査は行っているのか。〔有識者〕
→満足度調査は、毎年、四半期に一度、利用者に対面方式で、「大変満足」「まあまあ満足」「やや不満」「大変不満」の4段階で意見徴収し、「大変満足」「まあまあ満足」との回答が98%以上の傾向が続いている。また、自由記述により良かった点、改善点を調査している。フラワーピクニックの際には大規模花修景について95%以上の方に満足という回答をいただいている。〔公園管理者〕
→よくわかった。不満足な部分をなくすことが重要で、引き続き調査をお願いする。〔有識者〕
- ② 公園利用者のリピート率はどのくらいか。〔有識者〕
→確認後お伝えする。〔公園管理者〕
- ③ 梅雨期、冬季、平日等利用者の少ない時期は、観光業界全体にとっての課題である。海外からの長期滞在旅行客は、曜日に関係なく来園すると思うので、平日の来園者を増やすためのターゲットにしてはどうか。また、海のない国からの留学生は、海を渡り公園に来園する機会が貴重との声もあり、留学生をターゲットとすることも一つのきっかけとなると考える。〔有識者〕
→留学生のモニター調査なども有効と思われる。また、海に関連して博多ふ頭とも連携しイメージ付けを行うことも有効ではないかと思われる。〔有識者〕
→ご意見をもとに、園内関係機関と連携して議論を進めていく。〔公園管理者〕
- ④ 環境教育の指導者育成などにおいて、海中独自の認定資格や健康プログラムを開発し、参加者の募集を募ると、閑散期の利用者増加につながると思われる。〔有識者〕

2) 各主体における今年度の取り組み状況

(1) 海の中道管理センター

- ① インクルーシブパークは、保護者側への配慮と、特に自走式の車いすは舗装も重要となるため、動線や滞留部の日陰スペースなど、熱中症にならず安心・安全かつスムーズなアクセスを検討するとよいと思われる。プレイワーカーとソフト面についても引き続き検討を進めることが大事である。また、若い世代に人気のインフルエンサーとのコラボレーションを検討すると若い世代を引き付けることができるのではないかと。[有識者]
- 福岡在住のYouTuber との連携など、公園だけでなく福岡全体を知ってもらう取り組みも現在検討中である。[園内関係機関]

(2) マリンワールド海の中道

- ① 「水辺のいきもの観察会」や「おやこビオトープ観察会」の参加者数はどの程度か。[有識者]
- 「水辺のいきもの観察会」については確認後お伝えする。「おやこビオトープ観察会」については、今年度はこれまで4回行っており各回3~14名の方に参加いただいた。[園内関係機関]
- 事前申し込みは多くあったが、体調不良等によるキャンセルで参加者が減少した。このような事も想定したうえで参加率を上げていくことが大事であると考えている。[園内関係機関]

(3) ザ・ルイガンズ

- ① 公園エリアの中で連携したプログラムなどの実施は考えられるか。[有識者]
- ヨガやサップネスなどは公園エリアでの実施も可能であると考えている。[園内関係機関]

(4) 海の中道マリーナ&テニス

- ① コロナ禍とコロナウイルスが5類に指定されて以降、利用状況等に変化はあったか。[有識者]
- コロナ禍は密を避ける傾向があったが、5類への指定以降は、コロナ禍前の利用形態に戻りつつある。特にマリーナはコロナ禍では増加傾向にあったが、現在は普段人が集まる場所に分散している傾向にあると感じている。[園内関係機関]

(5) 青少年海の家

- ① ブルーカーボンや海の生態系の健全化は非常に注目されており、企業や地域団体、学校教育などと連携して取り組めるテーマと思うので、ぜひ検討いただきたい。また、福岡市でも博多湾 NEXT という取り組みを進めており、博多湾を健全化する拠点の一つとして当公園を活用することも良いのではないかと。[有識者]
- まずは海洋ごみアートなどの取り組みを通して、ブルーカーボンや海の生態系の健全化といった話題へのきっかけづくりをできればと考えている。[園内関係機関]
- ② 海洋ごみというグローバルな海の問題に関連する取組であるが、フォローアップなどを通して、事務局や行政として取り組めることはあるか。[有識者]
- 今後も園内関係機関と連携、意見交換しながら進めていければと考えている。[公園管理者]

- ③ 支援学校等の動物とのふれあい体験は、学校などから要望があったものか。[有識者]
→先生方などから動物とのふれあい体験が少ないという意見をいただいております、実際に触れ合うことは児童にとって大きな経験、刺激になるという点から評価をいただいております。[園内関係機関]
→立派な社会貢献活動であり、マスコミへ働きかけ報道してもらうことで魅力向上につながると思うので、ぜひ検討いただきたい。[有識者]

(6) 海の中道パーク・ツーリズム共同事業体

- ① 宿泊者数は今年になって伸びてきているか。[有識者]
→特にゴールデンウィーク、夏休み期間は増加した。[園内関係機関]
② ペット連れで宿泊できる施設は増えているが、まだ少なく、平日にペットと宿泊できるのは大変魅力的であるため、もっとアピールすることが大事ではないか。[有識者]
→全国的にもまだ少ないことから、リピーター等を獲得しながらペット宿泊可能のテントを増やすことなどを検討中である。[園内関係機関]

(7) 国営海の中道海浜公園事務所

- ① 電動キックボードはサイクリングコースを走るルールになっているのか。[有識者]
→サイクリングコースを走行し、歩行者園路には入れないルールである。[公園管理者]

3) 全体を通した意見

- ① 様々な情報発信やPRが利用者数増加にどの程度寄与しているか確認できるか。[関係行政機関]
→利用実態調査で来園のきっかけとなった情報媒体をSNS、広告、CMなど大まかな分類で調査しており、詳細は不明だがある程度は確認できる。[公園管理者]
② 多様な団体との連携や情報整理などを通して負担が増加している等の意見があれば、集約して今後の方針を決定していく等の対応を検討いただきたい。[有識者]
③ 海の中道は、安藤広重が六十余州名所図会で、名所として選んだ素晴らしい場所であることを協議会全体の共通認識として持っていただきたい。[有識者]

－以上－